



コスモス だより

第10号

編集・発行 医療法人コスモス 平成23年1月

〒381-2212 長野市小島田町380番地
TEL 026-285-2654
<http://cosmosnet.or.jp>

クリニックコスモス長野
介護老人保健施設コスモス長野
介護老人保健施設コスモスさいなみ
コスモス長野通所リハビリテーション
コスモスさいなみ通所リハビリテーション
長野市地域包括支援センターコスモス
居宅介護支援事業所コスモス

訪問看護ステーションコスモス
ヘルプステーションコスモス
グループホームコスモス長野
グループホームコスモスさいなみ
グループホームコスモスあもり
短期入所生活介護事業所コスモス
コスモス長野デイサービスセンター

コスモス松川デイサービスセンター
グループホームコスモス松川
小規模多機能型居宅介護事業所コスモスホーム
居宅介護支援事業所コスモス松川
クリニックコスモス松川
株式会社コスモスプラネット
社会福祉法人ウエルフェアコスモス



年頭にあたって思う

理事長 清水 健

あけましておめでとうございます。

わが国の人口は少子化のため次第に減少していますが、高齢者の人口は益々増加して、70歳以上の高齢者は1000万人を超えたといわれています。一方、世界の人口は増加し60億を超え、世紀末には90億に達し、世界中で食糧危機が懸念されるに至っております。

また、科学技術が進歩し宇宙開発も進められており、わが国で開発された宇宙ロケット「はやぶさ」が小惑星「イトカワ」から土を持ち帰り、地球の成り立ちが研究され、「カグヤ」が月の観察をして多くのデータをもち帰っています。人類は地球から宇宙へと発展していくことでしょう。それを可能にするのはエネルギーで、薪から石炭、石炭から石油、石油からバイオ燃料とエネルギー開発は進んできますが、これからは原子力エネルギーが重大な役割を演じることでしょう。

原子力エネルギーには核分裂によって得られる危険なエネルギーと、核融合によって得られる綺麗なエネルギーがありますが、現在世界中の研究者が核融合によつて得られる綺麗なエネルギーの開発に全力を注いでいます(ちなみに太陽は水素の核融合で燃えています)。核融合エネルギーが獲得できれば、人類はエネルギーの心配がなくなり、地球はもとより宇宙を征服することができるようになります。

年頭にあたって、目先のことばかりにとらわれず遠く未来を夢見ながら生活するのも楽しみのひとつかと思えます。



医療法人コスモスの基本理念

1. 愛と誠をもって社会に奉仕する
2. やさしさと思いやりの心で人に接する
3. 福祉、保健、医療を通して社会に貢献する

在宅介護総合ケアステーションの創設

新年あけましておめでとうござい
ます。

2011年は、2012年度の介護保険制度改正、医療保険制度改正の同時改正の準備期間として、様々な法案が国会で審議、可決する非常に重要な年であります。また、特に高齢者の介護については、2015年の「地域包括ケアシステム」実施に向けての本格始動の年と言ってもよいと思います。「地域包括ケアシステム」については清水健理事長からその意味について何度かお話をさせて頂きました。「高齢者の介護、高齢者の尊厳を支えるケアの確立」は、個々の高齢者の状況やその変化に応じて、介護サービス、医療サービスとの連携を基本に、様々な「支援」が「継続的」かつ「包括的」に提供される仕組みこそが地域包括ケアシステムであるということです。また、このシステムでは、「在宅」が基本となつて、地域の皆様のお力をお借りしながら、様々な在宅サービスの柔軟的な支援体制の確立が重要となります。

そこで2011年は、清水健理事長が示唆する「地域包括ケア」の実現として、「コスモスホール」を建設

し、運営いたします。「コスモスホール」の役割は大きく二つあります。一つめは、定期的に行われる健康増進としての「はつらつアップ」の提供場所として、また地域の皆様がお気軽に立ち寄れる憩いの場所として、いろいろな人にいろいろな目的で使ってもらえるような、地域交流スペースとしての役割です。そして二つめは、現在の在宅支援部を「コスモスホール」へと移動し、各サービスの更なる構築を目指す、「在宅介護総合ケアステーション」としての役割です。

「在宅介護総合ケアステーション」の運営にあたっては、理事長が常に言われていることですが、「施設」から「地域」への発想の転換が必要となり、施設の「居室」は、地域に生活する個々の「家」へと、施設の「介護職員」は「訪問介護」へ、施設の「看護職員」は「訪問看護」へとあたかも移行するかの様な発想の転換が必要となります。

また、特に高齢者の医療の役割が「治療中心」から「生活支援」と変化していることから、在宅療養支援診療所の強化、在宅かかりつけ医ならびに訪問看護の浸透により、医療と介護の連携の強化を図ることが必

要です。

そして、地域包括支援センターの再編により従来の介護予防センターとなつてしまつている地域包括支援センターがあらゆる高齢者のニーズを受け止め、「在宅介護総合ケアステーション」がワンストップサービスの拠点として、様々な「支援」に対応するため、24時間巡回型訪問介護や通所系サービスの時間延長、宿泊対応、途切れのないリハビリテーションの提供等、様々な検討が必要

です。
また今後私たちが検討する様々な「支援」は、地域の皆様のご協力を得ながら提供されるものでなくてはならないことが重要であることから、「コスモスホール」は、地域の皆様がお気軽に立ち寄れる憩いの場所として、いろいろな人にいろいろな目的で使つて頂ける場所であることを認識することが必要です。

本年は卯年、その大きな耳でご利用者ならびにご家族の声を耳に澄まし、またためまぐるしく変わる様々な情報を聴き分け、そして決して大きくではないけれど、着実に飛躍する年になるよう力を合わせて行きましよう。

本年も宜しくお願い致します。

平成23年元旦

事務部長 山田徳実

「コスモスホール」新設!

今年9月の竣工を目指して「コスモスホール」新築工事が始まりま

す。
当法人各施設(事業所)が、地域の皆様に開かれた、また親しみを抱いていたことが出来るよう、家族や地域住民と交流し情報提供を行ない、さまざまなケアの相談に対応できる施設としての利用が期待できます。

また、ホールに隣接して現在短期棟1階に配置している「在宅介護支援部」(長野市地域包括支援センター、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、在宅介護支援事業所)が移設します。

さらに、自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担つていくために有効的に活用していきます。

施設の概要は次のとおりです。

●構造・面積

鉄骨造り一階建て

310平方メートル

●ホール規模

テール使用時

72席



長野真田線が開通しました

長野インターから長野市内に向かう道路（長野真田線）が十一月二十三日から開通しました。当日は国会議員、長野県知事、長野市長、その他関係各位がご列席の中、近くの下氷鉋小学校のブラスバンドのファンファーレにより開通式が華々しく執り行われました。

今までの長野真田線は更北地区の区間が2車線となっており、この区間は車の通行量も多く、道幅も狭く、コスモス長野に來られる方にもご不便をおかけしておりましたが、今後長野真田線は、長野インターから長野市内まですべて4車線化され、見通しもよく通行しやすい道路となりました。なお、今までは雰囲気が変わってしまいましたので、コスモス長野の駐車場へ入ってくる時はスピードを抑えてよく確認しながら入っていただきますようお願いいたします。今後、看板なども新しくする予定です。



コスモスが新しい道路沿いになりました。



バス停も近くなりました。「コスモス」下車



全老健全国大会

参加に思う

副施設長 山田こづえ

施設では、例年業務の集大成のひとつとして全老健の発表を呼びかけています。今年の岡山大会にはさいなみ入所棟から三題の発表となりました。

ここ数年を振り返ると、デイケア部門が発表した機能別デイケアの取り組みについては、その後全国デイケア連絡協議会から追跡調査の依頼を受け、結果として「通所リハビリテーション様態別プログラム実践ガイド」の本の中に紹介されています。

また、昨年発表した温度センサーについては、今でも問い合わせが続いている状況です。

日常の業務をこのようにまとめ発表に繋げることは、何かのきっかけを生み、広がりのあることに発展していくようです。職員が自ら行動を起こし取り組みことは大変意義のあることと思います。また、参加するまでのプロセスでは連帯意識が高まり、一体とした協力体制が生まれることも日頃の業務を躍動的にしています。今後も更なる向上心を持ち挑戦していく職員が続くことを期待したいと思います。



全老健岡山大会に参加して

歯科衛生士 野池愛実

第21回全国介護老人保健施設大会岡山へ11月11・12日の2日間、コスモスさいなみの職員4名で参加をさせて頂きました。大会のテーマは「老人力と老健力」で過去にない応募件数の大会でした。私は11日に「ひとりひとりに向き合うと変わる口腔ケア」と題し、生活意欲がみられないデイケアの利用者が自力で口腔ケアを行えるようになった事例について報告をしました。歯科衛生士だけでなく、介護士、看護師、リハビリ職員も口腔ケアについて発表をしていました。様々な視点から口腔ケアに関しての演題を聞くことができ、勉強になりました。12日には介護福祉士の和田、込山が「てえへんだ！停電だ!!手作りセンサーだ!!」と題し、停電時の簡易センサーの使用状況について報告をしました。

午後の最後に理学療法士の高橋PTが認知症短期集中リハビリテーションのススメで短期集中リハビリの効果分析について報告をしました。2例とも質問があり、他施設職員からも興味を持てる演題でした。皆様のご協力もあり、3例無事に発表することができ、貴重な2日間となりました。ありがとうございました。



第21回 全国介護老人保健施設大会 岡山

子供の頃の思い出



コスモスさいなみ
施設長
医師 清水節子



元日は朝早く起きて顔を洗い、母の用意してくれた着物と羽織、新調した下駄。父は黒足袋、大島つむぎの着物と羽織をタンスから出し、弟は洋服も新しく、三人で神社に行く。朝は道が少し凍りついていた。近所の人達におめでとうと言って早足で15分ほどで松川の七楯神社につく。石段が20段位あった。杉の大木にはしめ縄も新しくしてあった。杉枝の焚き火が燃えてよい匂いがする。父は神主さんから御神酒を頂く。

遠くに天竜川が流れる伊那谷のお正月。
父は昭和18年、34歳頃家族を残して兵隊に行く。支那(中国)にいて中国人と戦った。体は乙種で丈夫でなかったが、若い少年兵にしごかれたらしく、帰ってきて辛かった話をした。母はその間松川の七楯神社に毎日のようにお参りに行っていた。昭和21年、一人で軍服姿で自宅に帰ってきた。戦争に負けて悔しい思いだったでしょう。私は、戦後飯田市の風越高校に通学し、友達と楽しい学生生活だった。

今は私の育った家は父も母も亡くなりましたが、小規模多機能施設コスモスホームとなって、松川町の高齢者の介護の場となつて役に立っていることを嬉しく思っています。

施設紹介

地域の中に溶け込む
施設を目指して

グループホーム
コスモスプラネット篠ノ井

白浜陽子

グループホームコスモスプラネット篠ノ井は、コスモスの5つ目のグループホームとして今年8月に篠ノ井会地区に開所しました。2年前に開設した有料老人ホームコスモスプラネットに隣接しており、色々な協力をしてもらっています。ボランティアさんもたくさん紹介してもらい、定期的に訪問していただけたようになつたグループもあります。

篠ノ井の南に位置しており、バイパスから少し入り込んだ閑静な住宅地の中で、まだ田畑がたくさん残っていて静かで環境のよい場所です。南向きの建物は日当たりがよくて、今年はずし柿をたくさん作りました。また、散歩に出掛けると近くには公園があり、地域の方が手入れをされている木々や草花も楽しめます。

来年は『篠ノ井イヤー』とのことで、この地に根ざして地域の方々とのつながりを深めていきたいと思つています。



P.T高橋みどりさんの
記事が掲載された
本が出版されました

コスモスさいなみには、100名の方が生活されています。私たちリハビリスタッフ5名は、体のリハビリとともに認知症予防のリハビリにも取り組んでいます。平成18年から始まった認知症短期集中リハビリですが、5年間で実施人数が150名を超え、意欲や社会性の向上などの効果がみられました。その様子が2010年4月19日に、信濃毎日新聞「笑顔のまま」というシリーズの記事になりました。(新聞は何故年齢を載せるのか?と疑問をもちつつ...)そして、そのシリーズが「認知症と長寿社会」という題名の本になり、講談社現代新書から出版されました。760円です。私には印税は入りませんが、興味のある方は是非お買い求めください。

コスモスさいなみ
理学療法士 高橋みどり



ボランティアさん紹介 菜の花

毎月第3水曜日に、コスモス長野の老人保健施設とグループホームへ訪問して頂いています。内容は歌、歌に合わせての手遊び、紙芝居です。また、グループホームのコスモスさいなみとコスモスプラネット篠ノ井でも活動されています。

「菜の花」さんの活動は今年十一年目で、現在8人のグループです。月1朗読の先生に付いて勉強されていて、グループ名は先生の名前の一字「菜」を取って付けたとのこと。

テーマソングはグループ名にちなんで「朧月夜」で、最初にこの歌で始めるそうです。利用者の皆さんも、一緒に歌い、手を動かしています。最初は硬かった利用者さんの表情も、徐々に柔らかくなり、そしてとても楽しそうな笑顔に変わります。私達は毎月楽しみにしています。

(コスモス長野)



知っておきたい

介護の知識

介護のポイントとして更衣動作について書きたいと思います。高齢者、特に寝ている時間の多い人でも、意外に汗をかいているものです。こまめに着替えを行うことで、清潔な状態を保ちましょう。また、更衣動作は身体機能の低下を防ぐうえでも重要です。これから挙げる7つの点について日頃の介護とどのように違うか検討してみてください。

- ①室温は22〜25度に保つ
- ②できる範囲は自分で着替えてもらう
- ③衣服は伸縮性・吸湿性・通気性がよいものを選ぶ
- ④ズボンの着脱は、手摺・壁を利用して転倒を予防する
- ⑤片マヒの場合は、健康な側から脱ぎマヒがある側から着る
- ⑥起き上がるのが難しい人でも、電動ベッドの背を上げ、身体を起こしてもらう
- ⑦シワは褥瘡の原因となるので注意する。

この内容がすべての人に当てはまるということはありませんが、介護をしていく中で少しでも参考になればと思います。

作業療法士 窪田俊彦

寒さに向かって!!

温か料理のおすすめ

寒い冬がやって来ました。感染症を予防するためには、身体を温める食事を心がけることが大切です。冷えが慢性的に続くと免疫力が低下します。まず、正しい食習慣を身につけましょう。

朝ごはんを抜くと体温が上がらず低体温になり、血流の循環も悪くなります。栄養バランスが乱れると、たんぱく質やビタミン・ミネラルの不足が起こり、冷え性を悪化させます。また、偏食だと貧血になりやすく、貧血でヘモグロビンが不足すると、栄養素が酸素不足で不完全燃焼を起こし、身体を温めることができなくなります。末梢への血液も不足し手足の冷えが生じるのです。気温が10度を下回ると鍋の具材がよく売れるといわれます。鍋物・煮込み料理・スープなどは、多くの材料を使うことができるので寒い冬にはお勧めです。

食べ物は体を温める「陽性」のもの、体を冷やす「陰性」のものに分けることができます。夏が旬のものや、南国の食べ物・飲み物は体を冷やす陰性の性質を持っています。昔の人たちは、その土地でその季節に取れるものを食べていましたが、最近は季節を問わずに食材を食べることができず、それが冷え性を悪化させている可能性があるのです。秋に収穫される食材は、「陽性」の食材なのでたくさん使ってください。

温かい食べ物を食べると、冷えて緊張した体が緩み、血流も良くなるので、リラックスして疲れも解消できますね。病気が知らずで冬を乗り切りましょう。

なおコスモスのご利用者には、以上の点をふまえた食事をご提供しております。

コスモスさいなみ

管理栄養士 飯島利香



布ぞうり製作に

取り組む

コスモス長野

デイサービス 宮島

デイサービスでは指先のリハビリの一環として、作業活動で布ぞうりの製作を行っています。楽しみながら、実際に使用できる布ぞうりです。3センチ幅の布をジグザグに編んでいき、布をつめていく作業です。幅の調整や大きさを同じものにするには、簡単ではありません。しかし、考えながら行うことにより、楽しみに変わっていくものとなります。プレゼントをする相手を想像しながら、製作をしていくので、楽しみながらリハビリもできる二石一鳥の作業活動です。



指導にあたってのボランティア部 青木久美子さんのコメント

平成21年9月より、コスモス長野デイサービスセンターにて「ぞうり作り」のお手伝いをさせていただいております。ぞうりを作る楽しみは、好きな布の柄とはな緒の柄を選ぶことから始まります。自分のイメージとは若干違いながらも、試行錯誤しながら、編んでいます。納得のいくぞうりの形にこぎつけるには、やりなおす方もいれば、次もう一度作りたいと目標を立てる方と様々ですが、楽しくサポートさせていただいております。

完成品は、飾っておきたいという方がほとんどですが、布の柔らかな感触と履き心地は、何とも言えないので多くのおみなさまに伝えていきたいと思っております。

コスモス松川デイサービス

*デイサービス

デイサービスでは、レクリエーションの時間を使い、紅葉ドライブ、保育園の子どもたちとの交流、踊り、手品などのボランティアの方に来ていただいています。これからも、楽しかったと思っていたいただける機会をつくっていきたいと思います。

*グループホーム

松川にグループホームを開設して、早いもので5年半が経ちました。少しずつですが、地域にも受け入れられ、この秋には地域の消防団の方が声をかけてくださり、合同防災訓練が実施されました。若い団員の皆さんのキビキビとした消火活動の様子に、頼もしく感じる訓練でした。

*小規模多機能

小規模では、先日、干し柿作りを行いました。柿の皮をむきながら楽しそうにお喋りをしていました。出来上がるのをみんなで楽しみに待っています。又、交流スペースにはクリスマスツリーが綺麗に飾り付けられ、神聖な雰囲気味わっています。



各フロアーイベント

コスモスさいなみ



●十二月二十一日(火)さいなみ老健では、《クリスマス会》が催されました。ボランティアの「わらべうた」さんと一緒に歌い、人形劇を見て、職員のハンドベルの演奏を聞きました。サンタクロースからプレゼントもいただき、楽しい時間を過ごしました。昼食はクリスマスの特別メニューを召し上がっていただきました。

●さいなみでは月に1度《手作りおやき》を提供しています。皆さんにとっても好評で楽しみにしていただいているので、張り切っています。お陰様でおやき作りの腕もだんだん上達しています。

相談員 嶋田

本年度は5施設90床

市内の高齢者福祉施設

長野市が第5次高齢者福祉計画と第4期介護保険事業計画の「あんしんいきいきプラン」の中で定めている「高齢者福祉施設等の整備」で、本年度は認知症高齢者グループホームを5施設90床開設した。市は09(平成21)年度から1年度の間で老人福祉施設70床を計画しているが、本年度中に小規模特別養護老人ホーム1施設194床の整備も決定しており、2年度で71床の整備が予定される。

老人福祉施設の整備 した。

は当初580床を予定 整備計画の残りの56していたが、国の緊急 床は、小規模介護付き経済対策で昨年4月か 有料老人ホーム29床とら補助金が交付された。特別養護老人ホーム27こで70床を増や 床、小規模介護付き有

3年計画で770床を整備 進ちよくは9割強に



8月に篠ノ井会に開設したグループホームの様子

料老人ホームは現在、金9450万円を以て開設事業者を募集中 議会に提出の補正予算で、特別養護老人ホーム 案に計上した。

△は開設に向けた補助 今年3月現在で、施

「待機者が当初の計画より増えている。できるだけ希望に沿った整備をして、重要度の高いから入れられるようにしたい」と話している。

小島田の「コスモスさいなみ」

チャリテイー 小物を販売

小島田町の「コスモスさいなみ」通所リハビリテーションの利用者が、リハビリ作業の一環で作った小物類を販売し売上金を全額テレビのチャリティー番組に寄付する活動を27日まで行っている。

リハビリで利用者製作 布草履など32品



口近への販下で販売している。価格は10円。ういの秋葉を合わせて1000円程度で、売

夏祭りも人気だった小物類の販売

会場でも販売した。13万6000円を総施設職員でチャリテイーする額を寄付している(注)は「社会のため」に役立ちたいと一生懸命手を動かして作る。多くの人に夢を届たい、昨年の金額(約

長野市民新聞に 紹介されました。



手編みの膝掛けをもらって喜ぶお年寄りたち

手編み膝掛けなど寄贈

「篠ノ井のグルー」冬を暖かくー暖か冬を過ごして「コスモスさいなみ」で、篠ノ井地区で活動するボランティアグループ「手編み毛織」に色鮮やかな手編みのフリース(五十嵐光孝)の会)が9日、篠ノ井をラレセントした。

代表者が9日、篠ノ井会の介護付き有料老人ホーム・グループホーム・グループホームに訪れ、お年寄りの頭に帽子をかぶせたり、膝掛けを置いてたりして奇贈。最後はみんな合唱「紅葉(もみぢ)」を合唱し、明るい歌声が響き渡った。入所の女性は「すてきな物を頂いて申し訳ない」と感謝していた。

手編み毛織の会は1993(平成5)年に発足し、現在は長野市内の女性約20人が所属。篠ノ井ボランティアセンターに集まって手編み作品を作り、年一回、篠ノ井の福祉施設などに贈っている。

集めたタオルを寄付

保険会社の営 老健運営の法人に 業担当の協会

町に寄付した。

JAIFA協会は、社会貢献の一環で、介護施設などへの寄付を決定し、10月に開いたセミナーの参加者が、コスモスが運営する老健施設などでは利用者の体をふいたりするのにもタオルが多く必要で職員が持参するものとして集めている。



コスモスにタオルを贈る金井会長(右)

00人に家庭で眠っているタオルの提供を初めて呼び掛けた。コスモスが運営する老健施設で県協会関係者の恩師がボランティア活動をされている縁で、先

老健施設「コスモス長野」に金井敬司・JAIFA県協会長が訪れ、清水健・コスモス理事長にタオルを渡した。JAIFA県協会は来年以降もタオルを築めてコスモスに寄付する方針だ。

ノロウイルス・インフルエンザ対策

感染委員長 堀内克子

あけましておめでとうございませう。今年もまだまだ感染症対策の必要な時期です。ノロウイルス、インフルエンザ感染を防ぐため、コスモス長野の感染委員会より今月の目標は「うがい、手洗いを徹底し、体調管理をしていきましょう」と掲げています。

「ケア一歩洗い」を目標として感染予防に努めています。各体調管理をして、咳のある時は「咳エチケット」もお忘れなく！

感染症について 「面会の皆様へ」

当施設では、感染予防を徹底するため、面会をされる方は「マスクの着用」と「手の消毒」を徹底していただき、受付にて面会の申込をお願いします。

なお、マスクをお持ちでない方は受付で販売しておりますので、受付にご相談ください。

平成二十二年十二月二十九日

施設長

Booksベストセラー 立ち読み



「あなたは絶対！運がいい」

浅見帆帆子 著(光清堂出版)

「プラス思考」すれば自分の悩みや問題まで解決してくれます。

毎日の生活の中で自分の考え方を「プラス思考」にして「プラスパワー」を増やしていくと、自分の抱えているトラブルまで自然に解決してまいります。

プラスパワーを作り、すがすがしいいい気分になるためにすること

- 日常生活の小さなことにイライラしたり、文句を言ったりしない。
- いつも笑顔で過ごす。
- 家族や友人、身近な人々と円満に過ごす。
- 周りの人に寛大になる。思いやる。親切にする。
- その時、目の前にあることに全力を尽くす。
- 自分の行いを振り返る。

(勝田)

職場紹介

認可保育所 たんぽぽ



乳幼児を育てながら働く職員のための施設です。開校時間は原則として朝8時から夕方5時30分までで、対象は生後6カ月から3歳までのお子さんです。現在保育士3人体制で、今のところ6人のお子さんをお預かりしております。夏の暑い日には沐浴のできる設備と、広いベランダもあります。場所はコスモスさいなみの3階の南側の明るい部屋です。家庭の延長のようにとってもなごやかな雰囲気です。

ペットボトルキャップの回収 ご協力ありがとうございました

世界の子供達のために、平成22年1月から活動を開始したコスモス長野ボランティアチームも早いこと1年が経とうとしています。

今年の活動では、ペットボトルのキャップを3万1120個回収し、ポリオワクチン38.9人分に交換することができました。キャップをポリオワクチンに交換できたことよって世界の子供達が一人でも多く元気に過ごしてもらえたいことを願っています。また、アルミ缶のプルタブは約18kg回収することができました。皆様の善意、本当にありがとうございます。

今後は施設内にとどまらず、地域の学校や地域の方々とも協力しながら活動を続けていきたいと考えています。

今後も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

コスモス長野2階 矢澤公浩

あとがき

あけましておめでとうございませう。

今年の干支は卯年。この年は世の中いろいろと飛躍と発展のできごとがあるさうです。当コスモスグループは、コスモスホールの新設、社会福祉施設の新設等、地域の総合包括ケアセンターとして務めて参ります。本年も皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

看護師さん募集しています。

お子さんを保育しながら働けます。パートも歓迎です。